

序章 第1期計画の検証

平成26年3月に策定された第1期美濃加茂市スポーツ推進計画（以下「第1期計画」という。）では、「みんなのスポーツの推進」、「地域スポーツの推進」、「競技スポーツの推進」、「支えるスポーツの推進」、「スポーツ施設の整備と管理」の5つの基本目標を掲げ、本市のスポーツ施策を推進してきました。令和2年度から新たに始まるスポーツ推進計画を、より実効性の高いものとするために、第1期計画の検証が必要となります。

そこで、本章では、この5つの基本目標を達成するために掲げた「主な取組」の結果を振り返り（評価し）、それら結果を踏まえた今後の方向性を検証しました。

なお、第1期計画では、「主な取組」に対する実施目標を具体化（数値化）していないため、実施した内容や実績のみを掲載しています。

また、それぞれの取組の「今後の方向性」については、拡充、継続、縮小、変更、廃止の5つの区分で判定しました。

第1節 「みんなのスポーツの推進」の検証

- 基本施策
- ①年代や体力に応じたスポーツ活動の推進
 - ②一人でも参加できるスポーツ環境の整備
 - ③MT夢クラブ21の活動推進
 - ④広域スポーツ大会の支援強化

○基本施策：①年代や体力に応じたスポーツ活動の推進

主な取組	No.1 ちゅうたいクラブの推進
■結果	
子どもから高齢者まで誰もが日常的にスポーツに親しみ、健康の維持と増進に寄与することを目的とする「ちゅうたいクラブ」事業を推進しました。	
平成29年度には健康体操Bを、平成30年度には吹矢をそれぞれ新設し、より多くの市民にスポーツ活動の機会を提供しました。	
《実績》	
○参加者数（年間） 18,206人（H28年度）、18,772人（H29年度）、19,598人（H30年度）	
■今後の方向性	
今後も種目の新設や再編を行い、多くの市民にスポーツ活動の機会を提供します。 拡充	

主な取組	No.2 スポーツ少年団活動の推進
■結果	
団員募集のチラシを作成し、市内の全小学校に配布して団員獲得に努めました。その結果、市内在住の団員数は僅かに増加しました。一方で、加入率は減少しています。	
《実績》	
○市内在住小学生の市スポーツ少年団加入率（団員数） H25年度：16.07%（541人） ⇒ R1年度：15.35%（558人）	

■今後の方向性

子どもの頃からスポーツの楽しさや感動を体験できる市スポーツ少年団の活動に対しては、人的かつ財政的な支援を強化します。 **拡充**

主な取組 No.3 障がい者スポーツ活動の推進

■結果

障がい者がスポーツに親しむことのできる環境整備の一環として、平成28年開催の全国レクリエーション大会 in 岐阜に合わせ、プラザちゅうたいの和式トイレを洋式化しました。

■今後の方向性

施設整備だけでなく、障がい者と健常者がスポーツを通じて交流を図ることができるように、障がい者スポーツの理解の促進を図ります。 **拡充**

○基本施策：②一人でも参加できるスポーツ環境の整備

主な取組 No.4 「ウォークみのかも」の充実

■結果

市内の公園施設を中心に新しいコースを設定し、年間の参加者総数は大幅に増加しました。

《実績》

○年間参加者総数

465人（H25年度、年6回開催）⇒ 1,068人（H30年度、年6回開催）

■今後の方向性

イベントの充実だけでなく、ウォーキングの習慣化につながるような、新しい事業を展開します。 **拡充**

主な取組 No.5 ミニテニスの普及促進

■結果

スポーツ推進委員が中心となり、各地区で講習会や交流大会が行われています。また、市民大会も開催しています。

《実績》

○参加登録者数（市民ミニテニス大会）

145人（H28年度）、151人（H29年度）、116人（H30年度）

■今後の方向性

本市のシンボル・スポーツとなるように、スポーツ推進委員を中心とした普及活動を行っていきます。 **継続**

主な取組 No.6 各種大会への個人参加の促進

■結果

市広報紙やホームページなどを通じて、個人種目のスポーツ大会の開催案内を発信し、参

加者の拡大を図りました。

■今後の方向性

参加要件の見直しや新たな大会を開催することで、市民大会の充実を図ります。**拡充**

○基本施策：③MT夢クラブ21の活動推進

主な取組	No.7	クラブ主導型スポーツ体験教室の実施
	No.8	クラブ紹介誌の発行
	No.9	クラブ活動ホームページの立ち上げ

■結果

加入する各クラブが主体となり、スポーツ体験教室を開催しました。
クラブ紹介誌を毎年発行し、市内の小中学校の全生徒に配布しました。
ホームページの立ち上げには至っておりません。

《実績》

○参加者数（スポーツ体験教室）

226人（H25年度、年8回開催） ⇒ 54人（H30年度、年5回開催）

■今後の方向性

MT夢クラブ21に加入する各クラブの活動は、スポーツ活動の場を提供しているという点で有意義なことでありますが、組織自体は、行政主導であり、国や県が認める総合型地域スポーツクラブの要件を満たしていません。

今後は、クラブ紹介誌の発行など、ごく一部の活動に限定します。**縮小**

○基本施策：④広域スポーツ大会の支援強化

主な取組	No.10	広域スポーツ大会の支援
------	-------	-------------

■結果

みのかもハーフマラソン大会（旧みのかも日本昭和村ハーフマラソン大会）の事務局は、平成28年度（第11回）大会からスポーツ振興課が担っています。

また、加茂駅伝大会については、市体育協会を通じて人的かつ財政的な支援を行い、中濃駅伝競走大会については、本市、郡上市、美濃市、関市の輪番により、事務局をスポーツ振興課が担いました。

■今後の方向性

みのかもハーフマラソン大会の参加数は、近年、減少しています。より魅力のある企画の実施など、創意工夫を懲らした大会運営を目指していきます。**継続**

第2節 「地域スポーツの推進」の検証

- 基本施策
- ①地域が一体となって行えるスポーツ活動の推進
 - ②地区体育振興会の活動推進
 - ③スポーツ推進委員によるスポーツの活性化

○基本施策：①地域が一体となって行えるスポーツ活動の推進

主な取組	No.11 誰もが参加できる事業への取組
	No.12 世代交流が行えるスポーツの推進
■結果	
<p>誰もが気軽に参加でき、世代間の交流の場となるイベントとして、軽スポーツの大会や体験会を開催しました。</p> <p>《実績》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○全国ユニカール大会（全国レクリエーション大会 in 岐阜、H28年度） ○岐阜県ユニカール大会開催（H29・30年度） ○市レクリエーションフェスティバル開催（H29年度以降毎年開催） <p>吹矢、クロリティ、ラダーゲッター、ユニカールなどの体験会</p>	
■今後の方向性	
<p>誰もが手軽に参加でき、世代間の交流の場となり得る軽スポーツの普及促進を図ります。</p>	
継続	

○基本施策：②地区体育振興会の活動推進

主な取組	No.13 体育振興会連絡会議の設置
■結果	
<p>平成26年度から体育振興会長会議を毎年開催し、各地区の現状と課題についての意見交換を行い、地域のスポーツ活動の推進を図りました。</p>	
■今後の方向性	
<p>今後も体育振興会長会議を開催し、相互に情報交換を行うことで、地区のスポーツ活動を推進します。継続</p>	

主な取組	No.14 体育振興会への支援強化
■結果	
<p>各地区のスポーツ活動を支援するために、財政面だけでなく、体育施設の確保やスポーツ備品の貸与を積極的に行いました。</p>	
■今後の方向性	
<p>引き続き、各地区の実情に合った支援を行います。継続</p>	

○基本施策：③スポーツ推進委員によるスポーツの活性化

主な取組	No.15 各種スポーツイベントの企画と運営
■結果	
<p>スポーツ推進委員は、ウォークみのかもや自治会親善野球大会などの市民大会の運営で重要な役割を果たしました。</p> <p>また、出前講座を行い、軽スポーツの普及を図りました。</p>	
■今後の方向性	

スポーツ推進委員が新たな事業を企画し、より主体的な活動を推進します。**拡充**

主な取組	No.16	軽スポーツの普及促進
	No.17	スポーツ基礎の理解強化
	No.18	スポーツ推進委員のスキルアップ

■結果

スポーツ推進委員が講師となり、出前講座による軽スポーツ（ユニカー、ミニテニス、ドッジビー、ピロポロ）の教室を年3回程度開催しました。

また、可茂地区、岐阜県、東海四県、全国規模の研修会に参加し、スポーツの実技指導やルールなどに精通し、スポーツ推進委員としての資質の向上に努めました。

《実績》

- スポーツ推進委員による出前講座
3回（H28年度）、3回（H29年度）、2回（H30年度）

■今後の方向性

より多くの種目で出前講座が開催できるように、新たな軽スポーツを体得し、そのルールや技術に精通します。**継続**

第3節 「競技スポーツの推進」の検証

- 基本施策 ①学童競技スポーツの競技力向上
- ②市体育協会加盟団体の競技力向上
- ③観るトップスポーツの推進
- ④優秀スポーツ選手への支援

○基本施策：①学童競技スポーツの競技力向上

主な取組	No.19	スポーツ指導者のスキルアップ
------	-------	----------------

■結果

スポーツ指導者の資質の向上を図るために、指導者向けの研修会を開催するという目標は、達成できていません。

■今後の方向性

スポーツ指導者向けの研修会や講演会を開催し、指導者の育成を図っていきます。**継続**

主な取組	No.20	全国規模大会出場への支援
	No.21	各種大会情報の提供・共有

■結果

全国規模の大会に出場する選手の激励会と激励金の交付を行いました。また、その情報を新聞社に提供しました。

《実績》

○激励金交付人数 209人（交付額52万円、H25年度）⇒ 280人（106.5万円、H30年度）
■今後の方向性 新聞社だけでなく、多様な媒体を活用し、その活躍を市民に広く周知していきます。 拡充

主な取組	No.22 体カテストによる体力強化
■結果 市スポーツ少年団の体カテストを毎年開催し、団員の体カレベルを把握し、それぞれの体カに見合った活動ができるよう努めました。 《実績》 ○参加者数（体カテスト） 526人（H28年度）、494人（H29年度）、475人（H30年度）	
■今後の方向性 体カテストは、測定結果を基に自身の体カや適性を知り、その後の活動の基礎となるものです。したがって、引き続き、本事業を継続します。 継続	

主な取組	No.23 ボランティア活動の充実
■結果 市スポーツ少年団に加入する子どもたちが、毎年秋に開催される「川と海のクリーン大作戦」に参加し、中之島公園周辺の清掃活動を行いました。	
■今後の方向性 市スポーツ少年団の活動には、地域における社会奉仕活動も含まれています。したがって、今後も積極的にボランティア事業への参加を促進します。 継続	

主な取組	No.24 指導者・保護者研修会の開催
■結果 市スポーツ少年団の指導者や保護者向けの研修会は、県や可茂地区でも開催されていますが、本市主催の研修会の開催は実現できていません。	
■今後の方向性 市が主催する指導者向けの研修会や講演会を開催します。 継続	

主な取組	No.25 小中学校との連携推進
■結果 市スポーツ少年団の事務局として、年に一度、市内の全小学校を訪問し、現状報告や要望などの意見交換を行い、相互連携を深めてきました。	
■今後の方向性 市スポーツ少年団のスポーツ活動が積極的に行えるよう、学校との連携を図ります。 継続	

○基本施策：②市体育協会加盟団体の競技力向上

主な取組	No.26 市体育協会体育大会の充実強化
■結果	
<p>毎年5月3日開催の開会式には、地元高校生マーチングバンドの生演奏で花を添え、また、チラシを作成配布することで、多くの来場者にお越しいただき、市体育協会の存在をアピールできました。</p>	
■今後の方向性	
<p>市体育協会体育大会が盛大なものとなるように、支援していきます。 継続</p>	

主な取組	No.27 競技種目別スポーツ教室の充実強化
■結果	
<p>市体育協会加盟の種目団体が競技の普及を図るため、スポーツ教室を開催しました。</p> <p>《実績》</p> <p>○スポーツ教室開催数</p> <p>10件（H28年度）、7件（H29年度）、9件（H30年度）</p>	
■今後の方向性	
<p>今後も、各種目団体はスポーツ教室を開催し、競技の普及を図ります。 継続</p>	

主な取組	No.28 各種団体との連携強化
■結果	
<p>市体育協会加盟の種目団体は、可茂地区、岐阜県の体育協会が主催する地区大会、県民スポーツ大会に審判員を派遣しています。また、市が主催する市民大会の審判等についても、積極的に協力しています。</p>	
■今後の方向性	
<p>今後も、各種目団体とは市民大会の運営を委託するなど、連携を図っていきます。 継続</p>	

主な取組	No.29 重点スポーツの推進
■結果	
<p>地元高校の部活動で全国区での活躍が目覚ましいボート競技については、平成27年10月に美濃加茂ボート協会が設立され、翌年度に市体育協会に加盟しました。そして、市体育協会はボート競技を支援しています。</p>	
■今後の方向性	
<p>今後も、市体育協会は地域に愛され、地域を代表するスポーツを支援します。 継続</p>	

○基本施策：③観るトップスポーツの推進

主な取組	No.30 トップアスリート派遣事業の活用
■結果	

岐阜県が主催するトップアスリート出前指導を活用し、高いレベルの競技者と接する機会を設けました。

《実績》

○参加者 56 人（H28 年度）、49 人（H29 年度）

*種目：バドミントン（岐阜トリッキーパンダース）

■今後の方向性

本事業を活用し、トップアスリートとの交流を通じ、技術の向上を支援します。**継続**

主な取組 No.31 全国レベルの大会の招致

■結果

全国レベルの大会として、次の大会を招致しました。

《実績》

○観覧者（バレーボールVチャレンジリーグ女子）

800 人（H26 年度、1 日）、1,300 人（H28 年度、2 日間）

○観覧者（全日本ベンチプレス選手権大会）

1,200 人（H27 年度、2 日間）

■今後の方向性

トップアスリートの試合を間近で観ることは、大きな感動を得ます。こうした機会を提供することは、スポーツへの関心を高めるための重要な施策となります。今後も、大会の招致を積極的に推進していきます。**継続**

主な取組 No.32 地域密着型トップスポーツの支援

■結果

毎年、ホームタウンデーを開催し、県唯一のプロサッカークラブであるFC岐阜を盛り上げ、美濃加茂市民、岐阜県民としての絆を深めることができました。

■今後の方向性

地域に密着したトップスポーツを支援することで、地域の絆がより深まるように、ホームタウンチームと積極的に連携を図っていきます。**継続**

○基本施策：④優秀スポーツ選手への支援

主な取組 No.33 各種大会に関する情報提供強化

■結果

全国規模以上の大会に出場する選手の情報を、本人の同意を得た上で、積極的に新聞社に提供しました。

■今後の方向性

新聞社だけでなく、その活躍を周知するために、多様な媒体により広く発信します。**拡充**

主な取組	No.34 選手支援の拡充
	No.35 優秀選手の顕彰
■結果	
<p>激励会の開催や激励金の交付を行い、選手の意欲増進と側面的な支援を図りました。</p> <p>《実績》</p> <p>○交付件数 74件（H28年度）、84件（H29年度）、95件（H30年度）</p> <p>（参考）全国大会等出場激励金</p> <p>*全国大会（個人：5,000円、団体：5,000円×人数 ※上限30,000円）</p> <p>*国際大会（個人：10,000円、団体：5,000円×人数 ※上限30,000円）</p>	
■今後の方向性	
<p>全国大会や国際大会に出場する選手に対しては、側面的な支援を強化していきます。拡充</p>	

第4節 「支えるスポーツの推進」の検証

基本施策 ①指導者の育成と確保
②スポーツボランティアの育成

○基本施策：①指導者の育成と確保

主な取組	No.36 スポーツ指導者育成と支援
■結果	
<p>県体育協会が主催するスポーツ指導者向けの研修会は盛んに行われていますが、本市や市体育協会が主催する研修会は開催できませんでした。</p>	
■今後の方向性	
<p>市体育協会と連携し、指導者向けの研修会を開催します。拡充</p>	

主な取組	No.37 スポーツ指導者登録制度の構築
■結果	
<p>スポーツ指導者を採している団体又は個人とその指導者とのマッチングを円滑に行うため、市独自のスポーツ指導者登録制度を構築する予定でしたが、平成31年3月から（公財）日本スポーツ協会において、同様の趣旨である「公認スポーツ指導者マッチング」システムが開設され、運用が始まっています。</p>	
■今後の方向性	
<p>上記システムには、全国約18万人の公認スポーツ指導者が登録されているため、市独自の登録システムを構築する必要は無くなりました。廃止</p>	

○基本施策：②スポーツボランティアの育成

主な取組	No.38 スポーツボランティア登録制度の構築
	No.39 スポーツボランティアの育成支援

■結果

平成26年11月からボランティア登録の受付を開始しています。

《実績》

○ボランティア登録者数

個人：6人、団体：7団体（H30年度末時点）

■今後の方向性

登録制度は構築しましたが、その認知度は高いとは言えません。したがって、今後は、市ホームページを通じて定期的に本制度の周知を図っていきます。**変更**

第5節 「スポーツ施設の整備と管理」の検証

- 基本施策 ①市民に愛されるスポーツ施設の整備
②スポーツ施設の効率的な管理運営

○基本施策：①市民に愛されるスポーツ施設の整備

主な取組 No.40 西総合運動場の整備（西体育館の建設）

■結果

平成30年12月に西体育館が完成しました。（平成31年1月から運用開始）

■今後の方向性

地域のコミュニティ機能、防災機能を兼ね備えた体育館として、より多くの地域住民、市民に利用していただけるよう管理運営していきます。**変更**

主な取組 No.41 牧野ふれあい広場の整備（多目的陸上運動場の建設）

■結果

平成31年3月に牧野ふれあい広場基本計画を策定しました。

■今後の方向性

陸上競技場を中心とした運動広場（防災公園）整備の早期実現を目指します。**継続**

主な取組 No.42 前平総合運動場の整備（野球場・テニスコートの改修整備）

■結果

平成30年3月 前平グラウンドナイター電化を実現

平成31年3月 前平テニスコートナイターLED化を実現

■今後の方向性

前平総合公園再整備構想に基づき、稼働率の高いテニスコートの人工芝張替や球場の長寿命化等整備改修を行い、スポーツ施設としての機能維持を進めるとともに、市民プール跡地の有効利用を検討します。**継続**

基本施策：②スポーツ施設の効率的な管理運営

主な取組 No.43 指定管理者制度の導入

■結果

指定管理者制度の導入については、施設の老朽化や採算性などの問題により、白紙の状況にあります。中央体育館の建替えなどの機会に検討します。**廃止**

主な取組	No.44 施設予約システムの拡充
■結果	
平成30年12月 西体育館の料金などの改定に係るシステム改修	
■今後の方向性	
利用者が使いやすいシステムを構築し、体育施設を有効利用できるよう改修します。 継続	

主な取組	No.45 学校体育施設の有効活用の促進
■結果	
各地区の学校体育館を社会体育利用の目的として、夜間開放を実施しました。	
《実績》	
○夜間開放件数（年度）	
2,876件（H26）、3,110件（H27）、3,392件（H28）、3,307件（H29）、3,241件（H30）	
■今後の方向性	
学校開放の運営方法の統一と根拠整理をし、より利用しやすいシステムにするとともに関係課（学校）との連携を行い、学校体育施設の有効活用を促進します。 継続	

第6節 第1期計画を振り返って

第1期計画では「みんなが のびのびと かぎりなく もっとスポーツを」を基本理念に掲げ、今より“もっと”スポーツ活動に取り組むまちを目指し、45の取組を遂行してきました。

しかしながら、本市における成人の週1回以上のスポーツ実施率（以下「スポーツ実施率」という。）は、平成29年度調査で24.2%、平成30年度調査で40.7%、令和元年度調査で46.7%と上昇傾向にはあるものの、依然として国（平成30年度調査で55.1%）や岐阜県（平成30年度調査で48.6%）の数値を下回っている状況にあります。

このように、本市のスポーツ実施率が国や県と比較して低い数値であるということは、まだ上昇させる余地があり、次の計画では、市民ニーズを的確に把握し、より実効性のある取組を遂行していく必要があります。また、計画全体を通した数値目標を掲げ、それぞれの具体的な取組に対する実施目標を設定することで、適正な事業評価を実現していきます。

